

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社人間 御名前 山根 シボル 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

### ○どこを切っても実験的すぎる“本気万博”

関西のお客さんの笑いに対する目はシビアです。小さくまとまった“ゆる万博”になればすぐ見抜かれることでしょう。始まるまでの5年を使って、コンセプトもコンテンツもPR手法も一切手を抜かず、様々なチャレンジを行い続けて欲しいです。

### ○アベンジャーズのようなクリエイティブチーム

我々が行なっている万博勉強会の中で、パビリオン制作に関わった方が「海外のクリエイターに混じって一緒にものづくりをしてる雰囲気楽しかった」と言っていたのが印象的でした。会社や地域の垣根を超えた一流の変人が集まった、アベンジャーズみたいなドリームチームに期待します。これがあることで外から見た時に「誰を応援すればいいか」がはっきりすると思います。

### ○インディーズ万博の発生

愛される、面白い作品にはファンによる二次創作が生まれます。万博に関する自主企画が実現しやすいように、「関連イベントで使用可能な専用ロゴ」や「グッズ制作のルールの緩和」や「ファン向けの衣装」など、誰でも参加しやすい万博に挑戦して欲しいです。ちょっとカオスになるくらいの方がコアなファンを生み出せると思います。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

### ○最先端技術の最先端の見せ方

偏った意見だとは思いますが、多くのお客さんが見たいと思っているのは最先端の技術よりも「最先端の見せ方」と、それに対する「ロコミ(リアクション)」だと思っています。昔の大阪人がベルトコンベアに寿司を置いて回転させたように「ハア？非常識！絶対見たい！！」と感じるような“新しい体験”こそが、コンテンツになり得ると思います。

### ○変な人

人は「変わった人間」が大好きです。EXPO'70の岡本太郎のインパクトを未だに誰も越えられていませんが、今回こそ更に上を目指し「人が目立つ万博」にすることで、万博の魅力が一層深まると思います。

**3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。**

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

## ○ゲーミフィケーションによる人の誘導

『Pokémon GO』でレアなポケモンが出たり、イベントがあったりするとそこへ人が集まりますよね。5年後なのでまだ『Pokémon GO』が流行っているかはわかりませんが、ゲームの仕組みを利用して人の流れをコントロールできればもうこっちのもんですね。

## ○ワゴンセールによる人の誘導

在庫一掃セールや、閉店セールなど、大幅値下げが期待できるワゴンセールって人が集まりますよね。5年後でも大阪のおばちゃんは安売りが大好きだと思うので、ワゴンセールの仕組みを利用して人の流れをコントロールできればもうこっちのもんですね。

**4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。**

## ○万博計画具体化検討ワーキンググループ飲み会の開催

万博誘致活動や今までの実績から見て、大阪府はクリエイターとのつながりに乏しい街だと感じています。例えば「万博計画具体化検討ワーキンググループ飲み会」のような、面白い人同士が気軽に声をかけやすくするためのゆるい集まりとかどうですかね？面白いものを作るためには、勢いがあってノリがいい“幹事”が必要だと思います。

以上